

甲州高尾山山行報告

【山行日】2021年4月11(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 3,800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、青柳、安西、石澤、嶋田、島田、関、田村、廣瀬、福島、藤原、松館、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P6:00=勝沼ぶどう郷駅 P7:50/8:10=大滝不動尊 8:30/8:40~展望台 9:00~富士見台 9:20~甲州高尾山 10:10/10:20~柏尾山 11:15/12:00~登山口 12:40~シャトー勝沼 13:05/13:40=岩舟支所P16:00



山行アンケートで甲州高尾山のrクエストがあり、7年ぶりに計画したら14名の参加となった。予定より早く勝沼ぶどう郷駅に着き、予約したタクシー4台に分乗し登山口の大滝不動尊に向かう。期待していた桃源郷は3月の気温が例年よりかなり高く、桃の花の開花が早く終わってしまっていた。

大滝不動尊に着き、タクシーを降りてストレッチを行ってから出発する。

山門をくぐり急な石段を登ると朱塗りの立派な本堂が建ち、こんな山奥にと驚かされる。本堂の右側を進み、沢を朱塗りの橋で渡り山道に入る。すぐ先でもう一つ鉄製の橋を渡り、ミツバツツジが咲く急坂から、針葉樹林の鬱蒼とした登山道を登って行くと展望台に着く。展望台は西側の展望が開け、甲府盆地の先に南アルプスの山々が連なって望める。展望を楽

しみながら衣服調整し、水分を補給する。ここから甲州高尾山へ向かうが、道標とは反対方向へ進む。林道を10分ほど歩くと富士見台への標識があり、右に登山道を15分くらい登ると尾根に出て間もなく富士見台に着く。真白な富士山がドーンと現れ、ウワ〜と歓声が上がる。富士山の眺望を楽しみながらキーウイフルーツや菓子をいただく。ここからは展望が良い快適な稜線歩きとなり、展望を満喫しながらアップダウンを繰り返し進む。いくつかのピークを越え、少し疲れを感じたころ高尾山山頂へ着く。ここからの眺望も素晴らしく、展望を楽しみながらグレープフルーツや菓子をいただきエネルギーを補給する。記念写真を撮ったら出発し、一旦下って登り貸したところが剣ヶ峰のピークで宮岩山と標識があった。ここから急坂を下り、林道を横切って尾根伝いに進む。稜線はカラマツの植林帯となっており、芽吹き始めたカラマツの薄い緑のカーテンがとても気持ちが良い。



登山道の脇にワラビがちらほら顔を出し、採取したい気持ちにかられるがグッと我慢する。いつもの



のピークを超えて行くが、段々高度を下げて行き新緑の色が濃くなってゆく。柏尾山の直ぐ手前に倒木を並べた平坦な場所があり、SLから提案がありここでランチタイムにする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、皆さんソーシャルディスタンスをとって倒木のベンチで食べていた。チャーシューや厚揚げの煮つけ、からし菜やヤーコンのキンピラ等が並び皆さん美味しいと笑顔で食べていた。デザートのココアをいただき、お茶を飲んだら下山する。

柏尾山からの下りは今日一番の急降下で、滑らないよう慎重に足を進める。新緑が増々濃くなり、登山道脇のワラビも沢山目につく。皆さん採りたい気持ちを抑えて足元に集中して下り、大善寺上の東屋で小休止する。ここから急な石段の坂を下ると、登山口がある国道20号線にでる。本来なら大日影トンネル遊歩道を通って勝沼ぶどう郷駅まで行きたいが、現在は通行止めになっており右に国道沿いを進む。大善寺は拝観料500円を徴収されるのでパスし、20分歩いてシャトー・カツヌマのワイナリーに寄る。皆さんはここで買い物をして待っていただき、SLと2人でぶどう郷駅まで車を取りに行く。車を回収したらワイナリーまで戻り、皆さんを車に載せて帰路につく。途中、いつもの狭山PAに寄って買い物し、予定よりも早く岩舟支所に到着した。

